

第3学年国語科学習指導案

日時 平成15年9月17日(水) 5校時
場所 花泉町立金沢小学校3年教室
児童 21名(男10名、女11名)
指導者 今野 英行

1 単元・教材名 「お祭り事てん」を作ろう・(つな引きのお祭り)

2 単元について

(1) 児童について

3年生の児童は、とても明るく、素直で、男女仲良く遊んだり、活動したりすることができる子どもたちである。いろいろなことに興味・関心をもって意欲的に取り組む姿勢が見られ、授業中は進んで手を挙げて発言することが多い。1学期の説明文教材「自然のかくし絵」では、大切な言葉や文に着目させながら指導をしてきたことにより、書かれている内容を叙述に即して正確に読み取ろうとする児童が増えた。

しかし、間違いを恐れるためか、手を挙げて発表する児童が固定化していたり、自力解決のときは、自分の答えが正しいかどうか不安になり、すぐに友達のノートを見てしまったりする傾向がある。また、言葉の意味や使い方を正しく理解していないために、内容や問題の意図を正確につかむことができず、正しい答えを導き出せない傾向もまだ見られる。

そこで、本単元では、どの児童も自信をもって学習できる雰囲気をつくりながら、大切な言葉や文に着目させて書かれている内容を正しく読み取る力をさらに育てる学習にしたいと考えている。

(2) 教材について

つな引きとえば、大半の児童は運動会のつな引きを思い浮かべるはずである。そのため、お祭りでもつな引きが行われることを知って、さらに興味を持つに違いないと予想される。本教材は、文章全体が「はじめ」「なか」「おわり」の3つの形式で述べられており、さらに「なか」には、3つのお祭りが例示されている。それぞれ、「あらし」「準備」「つな引きの様子」「由来」の順に紹介されており、文章構成が大変わかりやすい。また、文章に即した写真も多く掲載されているので、内容はつかみやすいと思われる。自分たちの身近なお祭りにも関心を持ち、それらについて意欲的に調べる学習が期待できる教材である。

本単元における中心的な学習のねらいは、書かれている内容をまとまりごとに正しく読み取り、段落相互の関係をとらえること、さらに、相手や目的に応じて、お祭りについて調べたことをまとめ、表現することにある。

この教材は、学習指導要領の第3・4学年の「C読むこと」の目標、「目的に応じて、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」に迫ることができる教材である。

(3) 指導について

本単元の指導にあたっては、叙述に即しながら内容を目的に応じて、まとまりごとに正確に読み取らせながら、段落相互の関係ををつかませていきたい。そして学習したことを生かして、お祭り事てんを作る学習へとつなげていきたい。

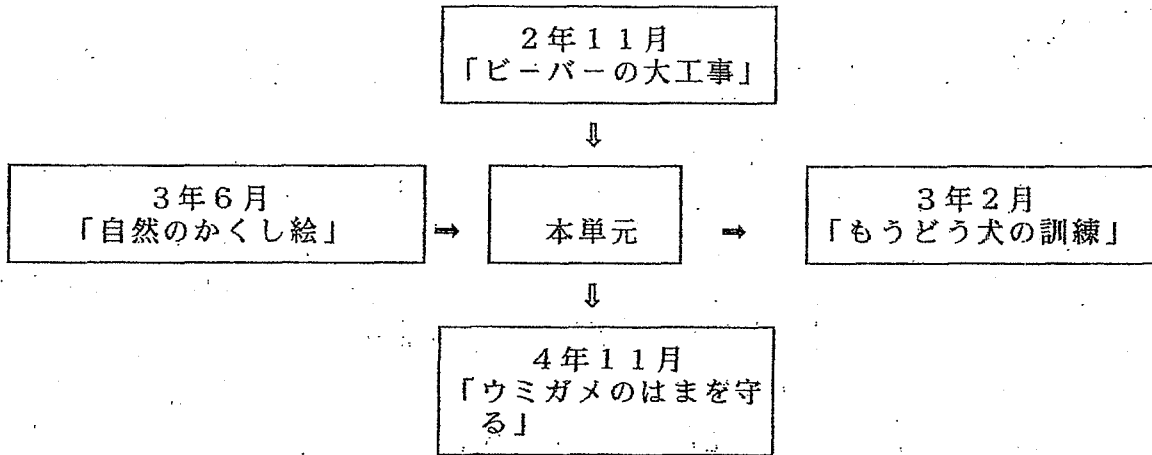
「つかむ」の段階では、新出漢字や言葉の意味調べを学習した後、「つな引きのお祭り」の内容を自由に想像させたり、全文を通読して感想を発表し合ったりすることで、教材に対する関心を高めたり、学習の見通しを持たせていきたい。感想を書かせる際には、「初めて知ったこと」などの視点を与えることで書きやすくできるようにしたい。

「ふかめる」の段階では、課題解決の手がかりとなる言葉や文に着目させながらまとまりごとの内容を読み取らせていきたい。その際、挿絵や半具体物などを提示し、より内容の理解が図られるようにしたい。また、「ふかめる」の終わりの段階では、今までの学習で活用してきた紙板書を提示しながら、文章構成をつかませていきたい。

「ひろげる」の段階では、調べてみたい身近にあるお祭りや行事を児童から自由に発表させ、それらの資料を読んだり、インタビューしたりするなどして意欲を十分に引き出したい。まとめるときは、本文で学習した文章の構成を参考にさせながら、相手にわかりやすくまとめることができるよう支援したい。

(4) 本単元の指導の系統

11月単元では、説明的文章の読解を生かした表現活動による学習展開に重点を置いている。2年11月では、調べたことをクイズ形式にして発表した。本単元では、調べたことを整理して表現する。そして、4年11月の調べた情報を整理して発表し合う学習に発展する。



3 単元の目標

- お祭りや行事に関心を持ち、進んで学習に取り組もうとする。
(関心・意欲・態度)
- ◎文章の要点をおさえながら書かれている内容をまとまりごとに正しく読むことができる。
(読む)
- 「お祭り事てん」を読んだ感想や友達のよい点を相手にわかりやすく伝えることができる。
(話す・聞く)
- 調べたことを整理して、事てんにわかりやすく書くことができる。
(書く)
- 段落相互の関係をとらえ、文章全体がどのように組み立てられているか理解することができる。
(言語事項)

4 単元の評価規準

観 点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	自分の作る「お祭り事てん」に関する材料を教科書や他の資料から積極的に集めようとしている。
話す・聞く能力	メモをもとに、「お祭り事てん」を読んだ感想を発表し、友達のよい点をわかりやすく伝えている。
書く能力	「お祭り事てん」に紹介する事柄を収集したり、選択したりしながら、適切に書いている。
読む能力	3つのお祭りについて紹介されている段落を「あらまし」、「準備」、「つな引きの様子」、「由来」の4つに分けて正しく読み取っている。
言語についての知識・理解・技能	文章全体が「はじめ」、「なか」、「おわり」の3つに分けられることを理解している。

5 単元の指導と評価の計画 (19時間)

段階	時間	主な学習活動	指導上の留意点・支援	具体的評価規準(評価方法)
つかむ	1	・全文を通読し、初めて知ったことなど初発の感想を発表し合い、これからの学習への関心と見通しを持つ。	・感想を書きやすくするために書く視点を与える。 ・紹介されているお祭りが、3つあることをおさえる。	【関】初めて知ったことや詳しく知りたことなどを進んで発表しようとしている。 (ノート・発表)
	2	・新出漢字の学習をする。		
	3・4	・難語句を辞典で調べ、意味を理解する。	・「国語辞典の使い方」の学習を生かして調べる。	
	4			
ふかめる	5	・①②の段落を読み、要点を読み取る。	・「決してそうではありません。」という文末表現に着目させ、昔からいろいろなお祭りの中でつな引きが行われてきたことに気づかせる。	【読】①②の要点を読み取っている。 (ワークシート・読)
	6 (構)	・③～⑪の段落を読み、秋田県刈和野のつな引きを「あらまし」「準備」「つな引きの様子」「由来」の4つのまとまりに分ける。	・挿絵やヒントとなる語句、文に着目させながら4つのまとまりに分ける。	【読】秋田県刈和野のつな引きが紹介されている段落を4つのまとまりに分け、正しく読み取っている。 (ワークシート・読・教科書へのライン)
	7	・⑫～⑰の段落を読み、沖縄県糸満市真栄里のつな引きを「あらまし」「準備」「つな引きの様子」「由来」の4つのまとまりに分ける。	・挿絵やヒントとなる語句、文に着目させながら4つのまとまりに分ける。	【読】沖縄県糸満市真栄里のつな引きが紹介されている段落を4つのまとまりに分け、正しく読み取っている。 (ワークシート・読・教科書へのライン)
	8	・⑱～㉑の段落を読み、鳥取県気高町宝木のつな引きを「あらまし」「準備」「つな引きの様子」「由来」の4つのまとまりに分ける。	・挿絵やヒントとなる語句、文に着目させながら4つのまとまりに分ける。	【読】鳥取県気高町宝木のつな引きが紹介されている段落を4つのまとまりに分け、正しく読み取っている。 (ワークシート・読・教科書へのライン)
	9	・㉒の段落を読み、要点を読み取った後、教材文の文章構成を確認する。	・「はじめ」「なか」「おわり」の3つに分けられることを伝え、3つのお祭りの紹介が、「なか」に入ることに気づかせる。	【読】㉒の要点を読み取っている。 【言】教材文を「はじめ」「なか」「おわり」の3つに分けている。 (ワークシート・読)
5	10	・「お祭り事てん」の構成を考え、グループごとに役割分担を決める。	・教材文で紹介された4つのまとまりを参考にすよう伝える。	【関】進んで「お祭り事てん」の構成を考え、役割分担を決

				めようとしている。 (観察)
ひ	11	・調べ方を確認し、インタビューを上手にする方法を知る。	・調べ方や上手なインタビューの仕方を理解させるために「てびき」を参考にさせる。	【関】調べ方やインタビューの仕方を進んで学習しようとしている。 (観察)
	12・13	・インタビューしたいことをまとめ、グループごとに調べる。	・聞き逃しがないよう、複数の人がメモをとるよう伝える。	【書】知りたかったことを整理して書いている。 (ワークシート)
ろ	14	・集めた資料を調べ、わかったことをまとめる。	・どうしてもわからない内容については深入りせず、わかる内容だけを紹介するよう伝える。	【書】「お祭り事てん」に掲載する事柄を集め、情報を選択してまとめている。 (ワークシート)
	15	・調べてわかったことを「事てんカード」にまとめる。	・資料をそのまま写すのではなく、紹介したいことを短くまとめるよう伝える。	【書】紹介したい事柄の中心がわかるように、記事にまとめている。 (ワークシート)
げ	16	・カードを読み直し、「お祭り事てん」を清書する。	・わかりやすく書けているところを紹介し、参考にするよう伝える。	【書】紹介したい事柄がわかる「お祭り事てん」を完成させている。 (ワークシート)
	17	・「お祭り事てん」を読み合い、お互いのよさを伝え合う。	・わかりやすく伝え合うために、読む観点、聞く観点を与える。	【話・関】メモをもて、「お祭り事てん」を読んだ感想を発表し、友達のよい点をわかりやすく伝えている。
る	18	・取材などでお世話になった人にお礼の手紙を書く。	・書きやすくするために、どんなことでお世話になったのかを振り返らせる。	(発表)
	19	・「お祭り事てん」作りで学習したことをまとめる。	・この学習で、できるようになったことを褒め、今後の学習意欲につなげる。	【書】伝えたいことが明確な手紙を書いている。 (手紙文)
10				【関】進んで学習を振り返っている。 (ワークシート・発表)

6 本時の指導 (6 / 19)

(1) 授業の構想

本時の指導では、本文に書かれている大切な文や語句に着目させながら、秋田県刈和野のつながりが紹介されている段落を、4つのまとまりに分けさせていきたい。その際、より内容の理解を図るために、挿絵や半具体物などを取り入れていきたい。また、発表する児童が固定化していたり、なかなか手が挙がらなかったりした場合は、グループで話し合わせるなどして、どの児童も意欲的に学習に参加できるようにしたい。

学習の手順や内容理解をわかりやすくするためにワークシートを準備する。

(2) 本時の目標

【読】秋田県刈和野のつながりが紹介されている段落を「あらし」「準備」「つながりの様子」「由来」の4つのまとまりに分け、内容を正しく読み取ることができる。

(3) 展開

段階	学習活動	支援	評価 (方法)	準備物
はじめ 5分	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <p>2 本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>つながりのお祭りが紹介されている段落を4つのまとまりに分け、正しく読み取ろう。</p> </div>	<p>・つながりは、お祭りの中でも行われてきたことを確認し、本時の学習課題へつなげる。</p>		<p>形式段落①②を書いた紙板書</p> <p>ワークシート</p>
なか	<p>3 秋田県刈和野のつながりが紹介されている形式段落を確認する。(③～⑩)</p> <p>4 4つのまとまりとは、どのようなまとまりかを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「こんなつながりです!」 ・「つながりの準備」 ・「つながりの様子」 ・「つながりが行われたわけ」 </p> <p>5 本時の学習場面(形式段落③～⑩)を音読する。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ音読(班ごと) ・指名音読 </p>	<p>・地名を手がかりにして、③～⑩の段落であることを確認する。</p> <p>・「あらし」「由来」については、児童にとって難しい言葉なので、わかりやすく別な言葉で表現する。</p> <p>・友達と音読する楽しさを味わわせるためにグループ音読、内容をより確かに理解させるために指名音読を行う。</p>		<p>紙板書</p> <p>紙板書</p> <p>ワークシート</p>
か	<p>6 4つのまとまりにそれぞれ③～⑩のどの形式段落があてはまるか読み取る。(一人学び)</p>	<p>・どうしてこのように分けたのか理由を明確にさせるためのヒントとなる言葉や文にライン</p>	<p>【読】秋田県刈和野のつながりが紹介されている段落を4つのまとまりに分けている。</p>	<p>ワークシート</p>

<p>な か 35分</p>	<p>7 形式段落③～⑩をどのように4つのまとまりに分けたのか自分の考えを発表し合い、内容を読み取る。 ・「こんなつながりです！」(③) ・「つながりの準備」(④⑤⑥) ・「つながりの様子」(⑦⑧⑨⑩) ・「つながりが行われたわけ」(⑩)</p> <p>8 課題についてまとめる。</p>	<p>引きながら読むことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えて取り組んだこと、自分の発表も認めてあげる。 ・言葉や文に着目させるだけでなく、挿絵も具体的に理解を確かにする。 <p>・今日の学習で読み取ったことを板書を見せ認させる。</p>	<p>(ワークシート・教科書へのライン)</p> <p>【読】書かれています。内容を秋田の紹介段落とまっています。(発表・ワークシート・教科書へのライン)</p>	<p>紙板書 挿絵半具物 ワークシート</p>
<p>お わ り 5分</p>	<p>9 本時のまとめをする。</p> <p>10 次時の予告をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習について自己評価を行う自分の学習意欲を高める。 ・沖縄県のつながりの学習を伝える意欲づけを行う。 		<p>ワークシート</p>

(4) 評価 (本時)

評価規準 (方法)	判断基準		
	A : 十分満足できる	B : おおむね満足できる	C : 支援を要する児童への手だて
【読】秋田県刈野のつながり紹介段落を4つのまとまりに分けて正しく読み取っている。 (ワークシート・教科書へのライン・発表)	課題解決の手がかりとなる言葉や文に目をつけながら、つながり紹介された4つのまとまりに分けて正しく読み取っている	つながりが紹介されている段落を4つに分けて出し、正しく読み取っている。	課題解決の手がかりとなる言葉や文を提示し、その段落を見ながらどこに書かれているかを確認できるように支援する。

秋田県刈和野のつな引き(③ ~ ⑪)			
つな引きが行われたわけ	つな引きの様子	つな引きのじみび	こんなつな引きです!
⑪	⑩ ⑨ ⑧ ⑦	⑥ ⑤ ④	③
			よせう 正かい 大切な言葉や文
さし絵	さし絵	さし絵	さし絵

かだい

つな引きのお祭り

つな引きのお祭り

三年)

かだい

秋田県刈^{かり}和^わ野^ののつな引き(○~○)

つな引きが行われたか	つな引きの様子	つな引きの心づき	こんなつな引きです!	よそう
				せい 正かい



◎学習のふり返り(◎・○・△)

①	②
<p>・秋田県刈和野のつな引きのお祭りを四つのままとまりに分けることができましたか。</p> <p>・進んで自分の考えを発表することができましたか。</p>	<p>たか。</p>